

平成30年度文化庁委託事業

全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会2019

平成31年2月6日〔水〕7日〔木〕8日〔金〕

国立オリンピックピック記念青少年総合センター

主催：文化庁 公益社団法人全国公立文化施設協会

お申込み受付期間：平成30年12月5日〔水〕～平成31年1月17日〔木〕

お申込みはこちら（先着順）

（公社）全国公立文化施設協会ホームページ

www.zenkoubun.jp/

本紙 6 ページ「参加申し込みについて」に記載の注意事項をご参照ください。

お申込みはこちらから

(公社) 全国公立文化施設協会 www.zenkoubun.jp/training/art.html

プログラム内容及び講師は変更になる場合がございます。

アートマネジメント関連講座 舞台技術関連講座 基礎講座 共通

これらカテゴリーを横断しての受講も可能です。

重複する時間帯のプログラムを同時選択することはできません。

2/6 水 11:00 ~ 11:15 開講式

2/6 水 11:15 ~ 12:00 基調講演

日本における文化と観光

金融アナリストとして活躍されたのち、日本の国宝や重要文化財の修復を手がける小西美術工藝社のトップとして従事されてきたアトキンソン氏。これまでの多彩なご経験とそのご見識にもとづき、日本における文化発信と観光、文化政策に関わるお話をお伺いする予定です。アトキンソン氏のお話は、劇場・音楽堂等に携わるすべての人にとって、文化施設はどうあるべきかを再考するきっかけとなるのではないのでしょうか。

デービット・アトキンソン (株) 小西美術工藝社 代表取締役社長

アートマネジメント関連講座

2/6 水 13:00 ~ 15:00 企画制作

中小規模館における予算ゼロのおもしろ事業展開

自治体からの限られた「事業費」のなかで、地域に対してどのような事業展開が図られるか。貸館等による鑑賞機会の提供を中心とした中小規模館に向けて、今ある施設を活用して、予算をかけずにどのような事業展開が図れるか、ゼロ若しくは少額予算で事業展開を行っている先行事例を紹介するとともに、会場での意見交換により企画立案を検討します。

講師 | 小西昌幸 創世ホール 元館長
| 出口亮太 長崎市チトセピアホール 館長

モデレーター | 岸正人 (公財) としま未来文化財団 豊島区立芸術文化劇場開設準備室 課長

2/6 水 13:00 ~ 15:00 安全管理

公立文化施設の大規模改修

—災害への備えとバリアフリー化に向けて—

地震等自然災害への備え、建築及び建築設備や舞台設備の老朽化、少子・高齢化社会対応など取組むべき課題が山積しています。今回は、各種意見の取りまとめから公募プロポーザルによる設計者選定、優先すべき改修計画に伴う一時中断など、さまざまな場面を経験してきた市文化会館の事例と10事例の改修事例調査にもとづく改修計画の課題発表から、文化施設における災害への備えとバリアフリー化について、参加者のみなさんと考えてみたいと思います。

講師 | 関山知子 茅ヶ崎市文化生涯学習部文化生涯学習課長
| 本杉省三 日本大学理工学部特任教授

モデレーター | 本杉省三 日本大学理工学部特任教授

2/6 水 15:30 ~ 17:30 文化政策

劇場・音楽堂等及び芸術団体の評価制度を考える

—日本芸術文化振興会におけるアーツカウンシル機能の成果報告—

平成 23 年度から日本芸術文化振興会に導入されたアーツカウンシル機能は、試行期を経て平成 28 年度に本格的な導入に至りました。現在、芸術団体への評価は 7 年目に入り、平成 30 年度からは劇場・音楽堂等に評価の範囲が拡大しています。8 年間に渡る評価制度の取組と成果を報告すると共に、今後、我が国における助成事業のあり方と評価方法について議論します。

講師 | 矢田文雄 (独) 日本芸術文化振興会 基金部長
| 西川信廣 (公社) 日本劇団協議会 会長

モデレーター | 柴田英紀 (公社) 全国公立文化施設協会 アドバイザー

2/6 水 15:30 ~ 17:30 安全管理

自然災害(地震、風水害)への備え。

—平成 29 年度「地震だ!! どうする!? 劇場・音楽堂等 震災対応ハンドブック」のポイントと、業務継続計画 (BCP) の策定—

地震、風水害など、大規模自然災害が頻発しています。

公立文化施設では利用者はもちろんのこと、地域住民のための災害拠点としての役割を果たすことも求められます。このような状況に迅速に対応できるように、平成 29 年度「地震だ!! どうする!? 劇場・音楽堂等 震災対応ハンドブック」の内容を中心に、初動対応のポイントをご紹介します。また災害時には人員や電気・水道等のインフラも限られます。そのような制限のあるなかでも業務を継続しなければなりません。このための計画を業務継続計画 (BCP) といいます。

本講座では、BCP の意義と、策定のポイントについてもご紹介します。

モデレーター・講師 | 本間基照 MS&AD インターリスク総研 (株) リスクマネジメント
第一部 災害リスクグループ マネジャー 上席コンサルタント
ほか 1 名

2/6 水 13:00 ~ 15:00 ワークショップ/企画制作

指導者養成演劇ワークショップ

—手から手へコミュニケーションをつなぐ—

人と人、人と地域、人と社会をつなげる場所として、地域の劇場が演劇を通して出来ることは何か。一人より二人、二人より三人、三人よりも大勢で創り上げるモノは、必ず人の中に何かを生み出し、それが明日へつながっていくモノになります。つながりは、すぐ近くにある手から手へと、多くの手が一つのカタチをつくっていきます。コミュニケーションの輪をどのように広げ、全員であるカタチを創るプロセスを体験します。

講師 | 河田園子 演出家
アシスタント | 木村雅子 俳優
モデレーター | 酒井誠 演劇制作アドバイザー

2/6 水 15:30 ~ 17:30 プレゼンテーション (演劇・舞踊)

劇場・ホールの自主制作公演の紹介 演劇・舞踊編

—2020 年度以降の連携と全国展開に向けて—

全国の劇場・ホールにおいて、自主事業として演劇やダンス公演、コンサート等を企画・制作する活動が増えてきており、またその公演等を複数施設で共同制作したり、他施設にツアーを行ったりする事例も散見されるようになりました。このプログラムでは、2020 年度以降に共同制作やツアーを予定する複数の劇場・ホールの担当者により、事業のプレゼンテーションを行い、共同制作やツアーの相手先施設とのマッチングを目指します。

講師 | 2020 年度以降に共同制作やツアーを予定する複数の劇場・ホールの事業担当者
モデレーター | 岸正人 (公財) としま未来文化財団 豊島区立芸術文化劇場開設 準備室 課長

2/7 木 10:00 ~ 12:00

組織・事業の管理運営

マーケティング入門

「マーケティング」という言葉に対するアート関係者の反応はおおむね2つに分類されます。1つは「(商業主義の)悪魔の手先」、もう1つは「魔法の杖(集客のテクニック)」。これらはいずれもマーケティングの本質を捉えているとは言えません。本講義ではマーケティングや消費者行動に関する基礎理論の紹介を通して、目の前の事象の背景にあるメカニズムを理解し、実践的な解決方法を立案する視座を提供することを目的とします。

講師 | 川又啓子 青山学院大学 総合文化政策学部 教授
モデレーター | 伊藤美歩 (有) アーツブリッジ 代表

2/7 木 10:00 ~ 12:00

文化政策

自治体文化政策の基本を理解する

一劇場・音楽堂経営やその実務に携わる人のために

この講座は、公立の文化ホール、市民会館、劇場、音楽堂等の経営や現場実務に携わる人を対象としてお話しします。もちろん、自治体の文化行政担当部局の職員さんもお聞き頂ければ、と思います。

自治体文化政策はなぜ必須不可欠な行政分野となっているのか。市民文化政策と都市文化政策の決定的な違い、市民文化政策と文化的人権、都市文化政策と都市の経済活性化、観光政策との関係、また、文化芸術基本法、劇場・音楽堂活性化法や公共的な劇場経営の基本を理解し、劇場の経営戦略を明確化すること。その他、今年度施行された障害者による文化芸術活動の推進に関する法律、指定管理者制度留意点と今後の方向性、行政(施設設置者)と公設財団(指定管理者など)のあるべき姿など、現場が身につけるべき文化政策理論を分かりやすくお話しします。

モデレーター・講師 | 中川幾郎 日本文化政策学会顧問(初代会長)

2/7 木 10:00 ~ 12:00

プレゼンテーション(音楽)

劇場・ホールの自主制作公演の紹介 音楽編

—2020年度以降の連携と全国展開に向けて—

全国の劇場・ホールにおいて、自主事業として演劇やダンス公演、コンサート等を企画・制作する活動が増えてきており、またその公演等を複数施設で共同制作したり、他施設にツアーを行ったりする事例も散見されるようになりました。このプログラムでは、2020年度以降に共同制作やツアーを予定する複数の劇場・ホールの担当者により、事業のプレゼンテーションを行い、共同制作やツアーの相手先施設とのマッチングを目指します。

講師 | 2020年度以降に共同制作やツアーを予定する複数の劇場・ホールの事業担当者
モデレーター | 中村よしき 東京芸術劇場 事業企画課 次席(音楽制作プロデューサー)

2/7 木 13:00 ~ 15:00

組織・事業の管理運営

「働き方改革」は文化施設に何をもちたすか

劇場・ホールは、元々開館時間が長く、職員もその開館や事業実施に併せて週末も含めたシフト勤務となっています。また、指定管理者制度導入後、管理期間の継続が保証できないことを理由に有期雇用化が著しく進行しています。これらに加えて、2018年4月からの有期雇用者の無期転換や政府の進める「働き方改革」など、雇用や組織が抱える新たな課題も持ったなしとなっているなか、事例報告等を交えて今後の雇用環境を考えます。

講師 | 布目藍人 (公社) 日本芸能実演家団体協議会
| 市川恵 (社労士法人) 恵社労士事務所 社会保険労務士
モデレーター | 岸正人 (公財) としま未来文化財団 豊島区立芸術文化劇場開設準備室 課長

2/7 木 13:00 ~ 15:00

ワークショップ/企画制作

親子のための伝統芸能ワークショップ

—ことば遊びとリズム遊びの表現—

地域劇場は地域住民一人一人のもの。文化芸術の地域アイデンティティは自然・風土の日常生活が原点。それは江戸期まで日本全土に流れ、広がりがありました。近代文化芸術の変革の中でも生残ったのが伝統芸能です。その核を親子伝統芸能ワークショップによって子どもの時から体感し、覚醒させて、地域劇場の企画制作に役立てればと考えました。風流、地歌の伝統の中の創造の核「言葉遊び」「リズム遊び」に焦点を絞って探ります。

講師 | 葛タカ女 地唄舞 葛流家元
| 望月彦慶 邦楽囃子演奏家
| 芦野孝男 NPO法人舞台芸術21ネットワーク 制作・理事
モデレーター | 平野英俊 舞踊評論家

2/7 木 13:00 ~ 15:00

企画制作

「観劇サポート」とは！

舞台表現の鑑賞にはさまざまなお客様が来館されます。舞台表現がみえない、音声が聞こえない、日本語がわからないなど、障がい者をはじめ高齢者や海外からのお客様も来館されます。健康者目線で事業を企画していませんか？今日は、視覚障がい、聴覚障がいの事例を伺い「鑑賞サポート」対応のヒントをみつけないかと思ひます。

講師 | 廣川麻子 NPO法人シアターアクセシビリティネットワーク (Ta-net) 理事長
| 美月めぐみ ぱっかりぱっかり女優
モデレーター | 間瀬勝一 (公社) 全国公立文化施設協会 アドバイザー

2/7 木 15:30 ~ 17:30

企画制作

“ハコ”を活かして！

“文化による地域づくり”を目指し全国に2000以上の公立文化施設が存在する日本。6年前に通称「劇場法」も整備され各地の公共文化施設が様々な試みを始めています。そんな中、長年無料でホールを終日開放する催しを行う2つの施設の取り組みについてお話しします。

サントリーホールは2005年から桜の季節に「オープンハウス～サントリーホールで遊ぼう！」を催し、大ホール、小ホール、ロビーまわり等を開放しコンサートを行っています。又、静岡グランシップは2006年から地域ボランティア発案で子どものための様々な遊びの場を提供しています。今ではホール全館を使い、地域の名物になり成長して訪れる子もいます。皆さまのホールを活かすために芸術団体、ボランティア、職員(ホール)の情熱と長年の努力を参考にさせて頂ければと思います。

講師 | 鈴木基規 (公財) 静岡県文化財団 事務局長兼総務課長
| 長谷川亜樹 サントリーホール 企画制作部副部長/プログラミングディレクター
モデレーター | 田村孝子 (公社) 全国公立文化施設協会 副会長

2/7 木 15:30 ~ 18:00

企画制作

企画立案と若手人材の活用

—邦楽デモンストレーションと舞台のしつらえ—

限りある財源でどのように企画を立案していくかを考えると共に、日本の伝統文化を推進していく担い手をどのように育成し、積極的に活用を図っていくか、その方法を学びます。また、江戸文化の象徴ともいえる「長唄」を取り上げ、鑑賞解説を行うと共に、若手人材の育成と活用について指導者のお話しと、流派を超えて結成した長唄・囃子青年楽団の演奏をお楽しみいただきます。

モデレーター兼講師 | 葛西聖司 古典芸能解説者
講師 | 味見純 東京藝術大学音楽学部邦楽科准教授 東音会唱方
| 杵屋勝三郎 (一財) 杵勝会八世家元
| 福原寛 福原流笛方
| 松永忠次郎 松永流唄方

曲目:「二人桜久」又は「勸進帳(抜粋)」(予定)、抄曲集(長唄メドレー)
演奏:長唄・囃子青年楽団「清響会」(唄) 岩本富士子、岩本瑠璃子、村治将之助(三味線) 坂口あまね、味見優、鈴木雄司(囃子) 山田崇、長尾基史、中島一樹、高木瑞記
舞台進行 | (公財) さいたま市文化振興事業団 赤羽根哲也、井上知彦、神保富美子
モデレーター | 柴田英紀 (公社) 全国公立文化施設協会 アドバイザー

舞台技術関連講座

2/6 水 13:00 ~ 15:00

舞台技術

労働安全衛生法施行令の一部改正

— 高所作業のあり方を学ぶ —

2018年5月厚生労働省から「労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令案要綱」と「労働安全衛生規則等の一部を改正する省令案要綱」の諮問と答申が公表されました。これは、高所作業を行う労働者の墜落による労働災害を防止するための措置で、高所からの墜落による労働災害を防止するための措置を強化するものであることから、政令案及び省令案要綱の趣旨とポイントについて学びます。

講師 | 片野豊 (公社) 日本照明家協会 安全委員
モデレーター | 草加叔也 (公社) 全国公立文化施設協会 アドバイザー

2/6 水 15:30 ~ 17:30

舞台技術

劇場・音楽堂のITV設備の比較と課題検討

劇場・音楽堂のITV設備は、舞台を遠隔で監視する上での重要な機能を担うだけでなく、舞台袖での演奏やコーラスなどでは、演出を支援する重要な機能を担っている。周知の通りカメラの広角化やPTF機能・暗視性能の向上に加えて、モニターのハイビジョンや4Kなどの高画質化、そして画像の通信システムなどが飛躍的に進歩してきている。このことからその組み合わせなどについて実際に実機を通して体感し、今後の改修等の一助にしていく。

講師 | 坂下仁 ヤマハサウンドシステム(株) 設計企画部計画設計課 課長代理
| 浅原康二 ヤマハサウンドシステム(株) 設計企画部 部長
モデレーター | 草加叔也 (公社) 全国公立文化施設協会 アドバイザー

2/7 木 10:00 ~ 12:00

舞台技術

舞台美術家の仕事、舞台美術の活かし方・可能性

演劇やミュージカル、バレエ、オペラなどの舞台芸術にとって、舞台美術は舞台照明や舞台音響、衣裳、メイクと共に欠くことのできない重要な役割を担う。特に舞台美術は観客にとって作品の印象を視覚的に大きく左右する重要な役割を担っている。その舞台美術を生み出す舞台美術家は、地域の劇場公演では最も関係が希薄な舞台関係者である場合が少なくない。このプログラムでは、舞台美術家の仕事を知るとともに、地域で制作する公演において舞台美術の活かし方、可能性について考える。

講師 | 土屋茂昭 舞台美術家
モデレーター | 草加叔也 (公社) 全国公立文化施設協会 アドバイザー

2/7 木 13:00 ~ 15:00

舞台技術

特定ラジオマイクの運用とこれからの課題

— 劇場で使うワイヤレスマイクの現状を知り、歴史と未来を探る —

特定ラジオマイク(A型ワイヤレスマイク)の混信防止を目的として、利用者相互間の運用調整業務を行う機関として設立をされたのが「一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構(特ラ機構)」である。劇場・音楽堂等との関係は、陸上移動局免許を必要とするA型ワイヤレスマイクの使用についてである。ここ数年、このA型ワイヤレスマイクの周波数移行が行われてきたが、その原因とこれまでの経緯、そして現状について学ぶとともに、これから新たに導入する上での課題や、A型ワイヤレスマイク自体の課題についても学ぶ。その原因とこれまでの経緯、そして現状について学ぶとともに、これから新たに導入する上での課題、そしてA型ワイヤレスマイクの自体の課題についても学ぶ。

講師 | 渡邊邦男 (一社) 特定ラジオマイク運用調整機構(特ラ機構) 舞台音響デザイナー
| 甲田乃次 (一社) 特定ラジオマイク運用調整機構(特ラ機構) テクニカルチーフ
モデレーター | 草加叔也 (公社) 全国公立文化施設協会 アドバイザー

2/8 金 10:00 ~ 11:45

ファイナルプログラム

「コンドルズ」の活動から

NHK教育「からだであそぼ」、NHK総合「サラリーマンNEO」の振付出演をはじめ、野田秀樹作演出NODA・MAP「パイパー」など、メディア、舞台の現場で多数の活躍をされている近藤良平氏。また、主宰するダンスカンパニー「コンドルズ」の活動では全国津々浦々の劇場・音楽堂等を廻り公演をされています。パフォーマーとしてご活動されてきたご経験から、表現者としての思いや、劇場・音楽堂等について感じていることなどもお伺いします。多角的な視点でお話しいただく貴重な機会となります。ぜひ聴講ください。

近藤良平 コンドルズ主宰

2/8 金 11:45 ~ 12:00

閉講式

2/7 木 15:30 ~ 17:30

舞台技術

最新の劇場から舞台技術について学ぶ

— 札幌文化芸術劇場 hirtaru —

2018年10月札幌市に都市再開発建物である「さっぽろ創世スクエア」の低層階に「札幌文化芸術劇場 hirtaru」「札幌文化芸術交流センター SCARTS」「札幌市図書・情報館」、そしてカフェやレストランからなる「札幌市民交流プラザ」が誕生した。その中核を成すのが、2,302席で3層のバルコニー席と北海道初の多面舞台を備えた「札幌文化芸術劇場 hirtaru」である。この劇場の整備を通して、最も新しい劇場計画と舞台技術のこれからについて学ぶ。

講師 | 伊藤久幸 (公財) 札幌市芸術文化財団 市民交流プラザ事業部 舞台技術部長
モデレーター | 草加叔也 (公社) 全国公立文化施設協会 アドバイザー

基礎講座

2/6 水 ~ 7 木

人材養成基礎講座

本講座は、劇場・音楽堂等に勤務するすべての方を対象に、劇場・ホールについての概念から、管理運営、事業企画、舞台技術などの全般について体系的に学ぶことを目的とします。もちろん、セクション毎に求められる専門性や分野は様々ではありますが、すべての人材が共通に身に付けるべき基礎的素養を学ぶ場としていきますので、いずれの講義においても、ご所属の部署を問わず参加することができる内容となっています。2日間にわたる全5講座のうち、講座毎の単独受講も可能ですが、ぜひ全講座通しての参加をお勧めします。個人が共通理解を深めることが組織運営の向上と繋がっていきます。なお、テキストは「劇場・音楽堂等人材養成テキスト 基礎編」(平成26年度発行)を再編したものを、主に執筆者による講義を章立て形式で行う予定です。

講師 | 田村孝子 (公社) 全国公立文化施設協会 副会長
モデレーター・講師 | 小川幹雄 (公社) 全国公立文化施設協会 アドバイザー
| 鈴木輝一 (公社) 全国公立文化施設協会 アドバイザー
| 間瀬勝一 (公社) 全国公立文化施設協会 アドバイザー

2月6日[水]

※時間帯が変則的ですのでご注意ください。

講座 1 13:00 ~ 14:30

第1章 劇場・ホールとは (田村孝子)

講座 2 14:45 ~ 17:30 ※途中休憩があります。

第2章 施設運営とは (間瀬勝一)

第3章 劇場・ホールの事業とは (間瀬勝一)

2月7日[木]

講座 3 10:00 ~ 12:00

第4章 劇場空間とは (鈴木輝一)

講座 4 13:00 ~ 15:00

第5章① 舞台業務の概要 (小川幹雄)

講座 5 15:30 ~ 17:30

第5章② 舞台設備 (鈴木輝一)

講座タイムテーブル

- アートマネジメント関連講座
- 舞台技術関連講座
- 基礎講座
- 共通

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00		
2月6日(水)		開講式	基調講演 日本における文化と観光		中小規模館における 予算ゼロのおもしろ 事業展開	公立文化施設の 大規模改修	指導者養成演劇 ワークショップ	労働安全衛生法施行令の 一部改正	劇場・音楽堂等及び 芸術団体の評価制度を 考える	自然災害（地震、風水害） への備え	劇場・ホール の自主制作公演の紹介 演劇・舞踊編	劇場・音楽堂のITV設備の 比較と課題検討	情報交換会
				第1章 劇場・ホールとは	第2章 施設運営とは 第3章 劇場・ホールの事業とは								
2月7日(木)	マーケティング入門	自治体文化政策の 基本を理解する	劇場・ホール の自主制作公演の紹介 音楽編	舞台美術家の仕事、 舞台美術の 活かし方・可能性	第4章 劇場空間とは	「働き方改革」は 文化施設に 何をもたらすか	親子のための伝統芸能 ワークショップ	「観劇サポート」とは！	特定ラジオマイクの 運用とこれからの課題	「ハコ」を活かして！	企画立案と若手人材の活用	最新の劇場から 舞台技術について学ぶ	
						第5章① 舞台業務の概要					第5章② 舞台設備		
2月8日(金)	ファイナルプログラム 「コンドルズ」の 活動から		開講式										

主 催	文化庁・公益社団法人全国公立文化施設協会
目 的	劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興を目的として、アートマネジメントと舞台技術に関する専門的研修を体系的に実施することにより、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を支援する。
開催期間	平成31年2月6日(水)・7日(木)・8日(金)
会 場	国立オリンピック記念青少年総合センター 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

対 象
劇場・音楽堂等職員、地方自治体の文化芸術振興行政担当者、アートマネジメント教育関係者、舞台技術関係者、学生、アートマネジメント・舞台技術に関心のある方、一般の方等

お申込み
受付期間 平成30年12月5日(水)～平成31年1月17日(木)
※先着順。定員に達し次第締切
申込方法 全国公立文化施設協会 ホームページからお申込みください。
<http://www.zenkoubun.jp/training/art.html>

- ・ホームページから申込みが出来ない方、申込内容の変更をご希望の方は、お電話で事務局までご連絡ください。
- ・平成31年1月下旬に、申込者全員に受講票をメールでお送りします。1月末までに届かない場合は、事務局までご連絡をお願い致します。

お申込みにあたっての注意事項

- ・お申込みは先着順となります。定員に達し次第締切ります。お早めにお申込ください。
- ・本年度より旅費の補助はございません。
- ・「アートマネジメント」「舞台技術」「基礎講座」「共通」のカテゴリーを横断してのプログラム選択は可能です。
- ・3日間すべての時間帯のプログラムを受講いただいた方で、希望される方には修了証を発行します。
- ・「基礎講座」のすべてのプログラムを受講いただいた方には、「全国劇場・音楽堂等人材養成講座」の修了証を発行します。
- ・2月7日(木) 15:30～18:00の「企画立案と若手人材の活用」一邦楽デモンストレーションと舞台のしつらえーでは、17:40(予定)よりデモンストレーションを行います。本プログラムを受講されていない方もデモンストレーション部分のみご覧いただけます。ぜひご参加ください(演奏開始後の途中入場はできませんのでご了承ください)。

情報交換会
情報交換、参加者相互の親睦を目的に情報交換会を行います。参加希望の有無を申込時に入力してください。
日 時：平成31年2月6日(水) 18:00～19:30
場 所：レストラン「とき」(カルチャー棟2階)
参加費：4,000円

宿泊について
研修会会場施設内での宿泊が可能です。
ご希望の方は、直接センターへお申込みください。
電話：03-3469-2525
<http://nyc.niye.go.jp/category/facilities/dormitories/>

交通案内(アクセス)
会場(施設名)：国立オリンピック記念青少年総合センター
所在地：〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
ホームページ：<http://nyc.niye.go.jp/>
アクセス：<http://nyc.niye.go.jp/train/>
電話：03-3469-2525 FAX：03-3469-2277
小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約10分
※参宮橋駅より会場の間に踏切があり、10分以上かかる場合があります。時間に余裕をもってお越しください。

- 東京駅から
 - ・JR中央線約15分 新宿駅乗り換え
 - ⇒ 小田急線 各駅停車 約5分 ⇒ 参宮橋駅 下車 ⇒ 徒歩約10分
- 小田急線
 - ・参宮橋駅下車 ⇒ 徒歩約10分
- 羽田空港から
 - ・東京モノレール 約25分 浜松町駅乗り換え
 - ⇒ JR山手線 約25分 新宿駅乗り換え
 - ⇒ 小田急線 各駅停車 約5分 ⇒ 参宮橋駅 下車 ⇒ 徒歩約10分
- 東京メトロ千代田線
 - ・代々木公園駅(C02) 下車(代々木公園方面4番出口) ⇒ 徒歩約10分

[周辺地図]



全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会2019 事務局

公益社団法人 全国公立文化施設協会
〒104-0061 東京都中央区銀座2-10-18 東京都中小企業会館4F
電話：03-5565-3030 FAX：03-5565-3050
E-mail：art@zenkoubun.jp
担当：堀江 / 菅生 / 向井 / 嘉山

[研修会の詳細情報・申込フォーム等]
<http://www.zenkoubun.jp/training/art.html>
研修会についてのお問合せは、事務局までご連絡ください。
企画・制作：公益社団法人 全国公立文化施設協会
企画委員：岸 正人 草加 叔也 柴田 英紀 田村 孝子 間瀬 勝一

全国公立文化施設協会のQRコードです。
最新情報はこちらからご覧ください。

